



塩尻市の外国語教育



塩尻市教育委員会 教育長 山田 富康

塩尻市の英語教育

- 1 塩尻市の紹介
- 2 塩尻市の特色ある教育施策
- 3 塩尻市のこれまでの小学校英語活動の取り組み
- 4 これまでの取り組みを振り返って
- 5 これからの塩尻の取り組みの方向



1. 塩尻市の紹介



1. 塩尻市の紹介





1. 塩尻市の紹介



1. 塩尻市の紹介



1. 塩尻市の紹介



2 塩尻市の特色ある教育施策

塩尻市教育振興基本計画の理念

『一人一人の育ちに、ていねいに向き合う教育』

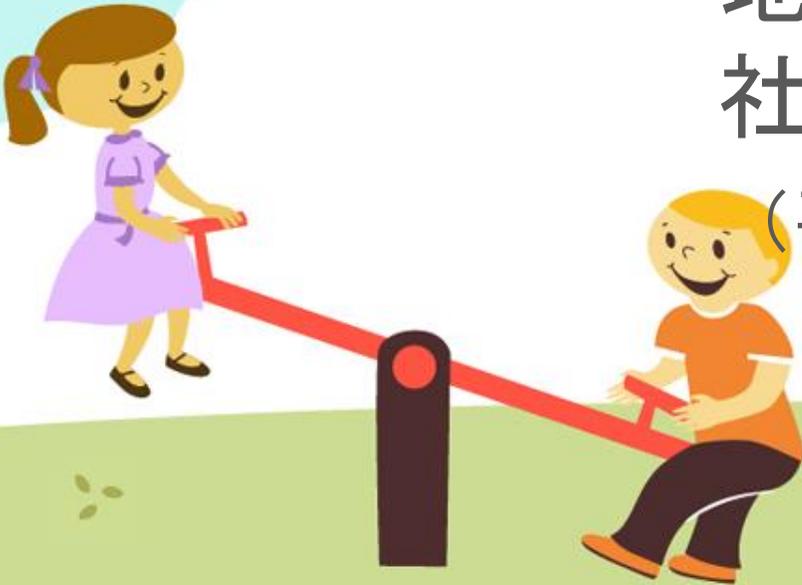
(1) コミュニティ・スクールの推進

地域とともにある学校づくり

社会に開かれた教育課程の編成

(平成27・28年度より市内全校で実施)

※外国語学習での地域人材との協働



2 塩尻市の特色ある教育施策

塩尻市教育振興基本計画の理念

『一人一人の育ちに、ていねいに向き合う教育』

(2) 元気っ子応援事業

全ての子どもたちの教育的ニーズに立った教育
妊娠期から概ね18才までの育ちを支援

※ユニバーサルデザインを取り入れたどの子にも分かりやすい外国語の授業づくりを



2 塩尻市の特徴ある教育施策

塩尻市教育振興基本計画の理念

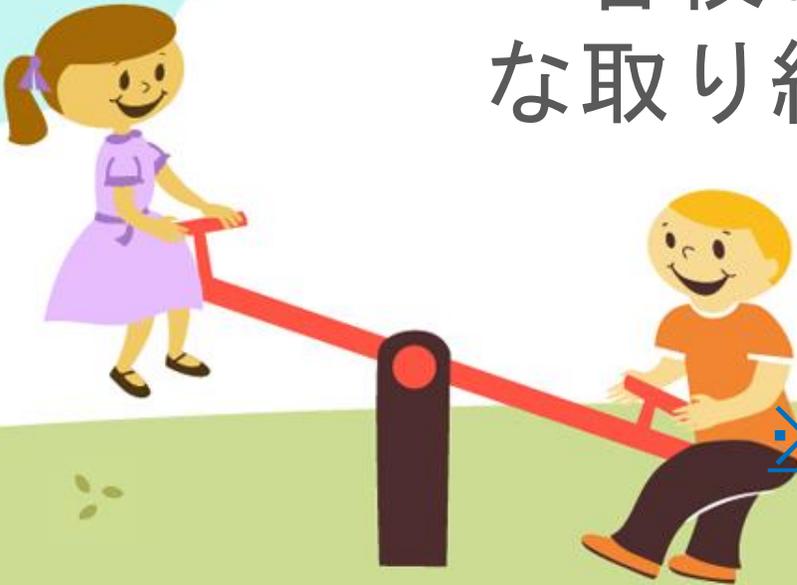
『一人一人の育ちに、ていねいに向き合う教育』

(3) 生きる力を育む交付金

各校のグラウンドデザインに盛られた重点的な取り組みや、特色ある教育活動に対し、
校長裁量で活用できる交付金

(100万円＋児童生徒数割り)

※各校での英語の教材・教具の充実、地域人材の確保、研究・研修費用等の確保など



3 塩尻市のこれまでの外国語活動の取り組み

年度	国の動き	塩尻市の動き
平成10年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>小学校学習指導要領の改訂</u> ・ 国際理解教育の一環として「外国語会話等」が入る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移行期間より「外国語会話等」を行うための準備を教育委員会で始める。
平成12年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文部科学省より研究開発の指定が始まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>英語の免許を持つ講師3人を市費採用</u>する。 ・ 外国語活動を取り入れた <u>国際理解教育の推進をに着手</u>する。
平成14年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>小学校学習指導要領の完全実施</u> ・ 総合的な学習の時間に国際理解教育の一環として <u>外国語会話等が導入</u>される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講師3人を国際理解講師として再採用 ・ 国際理解講師と担任によるTTで、総合的な学習の時間の <u>外国語会話等の授業が軌道に</u>乗り始める。 ・ 学校裁量の時間で <u>低学年でも外国語に親しむ国際理解教育</u>が進められる。

3 塩尻市のこれまでの外国語活動の取り組み

年度	国の動き	塩尻市の動き
平成18年度	<ul style="list-style-type: none"> 中央教育審議会教育課程部会外国語専門部会から「小学校における英語教育について」が出される。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>国際理解講師2名を採用し、5人に増員</u> <u>小学校専属のALT1名を採用</u> <u>小学校英語活動研究協議会</u>を設置 国際ワークキャンプ事業実施18~21年度
平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領改訂 コミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。 <u>学習指導要領告示（H20・3）</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業」 研究指定（塩尻東小） 小学校における英語教育のあり方に関する調査研究協力校（塩尻西小） <u>小学校英語活動年間指導計画策定</u> 市教育センター主催の<u>研修会年2回実施</u>

3 塩尻市のこれまでの外国語活動の取り組み

年度	国の動き	塩尻市の動き
平成20年度～ 平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> 第15期中央教育審議会第一次答申（外国語活動の新設） <u>移行措置として「外国語活動」が開始（H21）</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度より<u>市の研究指定校制度開始</u>（持ち回り）、平成21年度より<u>「外国語活動」を全小学校で先行実施</u> 年間指導計画の評価・改定 異文化交流体験事業実施 22～24年度
平成23年度～ 平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> <u>学習指導要領の全面实施</u> 小学校・「外国語活動」が必修化 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に沿い、小学5・6年生で年間35時間の外国語活動を実施 <u>国際理解講師が中学校で英語の授業を実施、また、中学校英語科担当の外国語活動の授業参観を実施（小中の連携）</u>
平成25年度～ 平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 教育再生実行会議の提言 小学校英語の抜本的拡充 文部科学省より研究開発の指定 	<ul style="list-style-type: none"> 「外国語活動」の授業実践の積み上げ 小中連携の継続

3 塩尻市のこれまでの外国語活動の取り組み

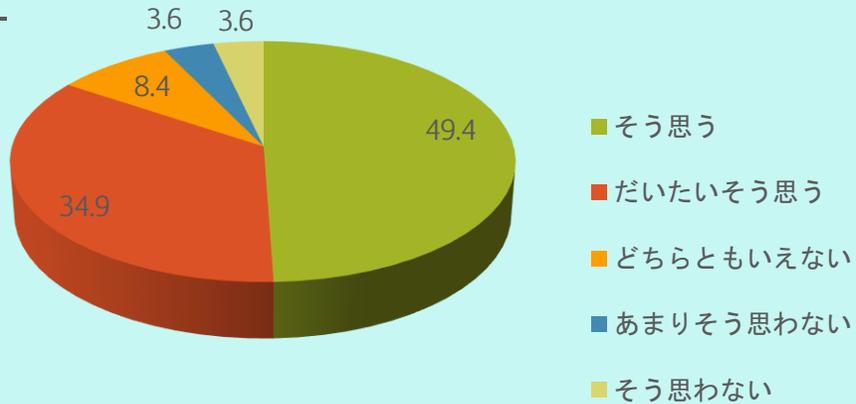
年度	国の動き	塩尻市の動き
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時期学習指導要領改定 ・ 学習指導要領の告示 (H29・3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原則として学級担任を主体とする国際理解講師やALTとのTTによる授業実践を推進 ・ 外国語教育に関するアンケート実施 (学級担任及び校長 29年8月下旬) ・ 英語科指導主事配置を決定、予算化
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時期学習指導要領の周知 ・ 教材データ・学習指導案例共有 ・ 生デジタル教材データ共有 ・ 児童冊子・指導書・デジタル教材送付 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語科指導主事を配置 ・ 研究指定校での「塩尻モデル」の研究開始 ・ 英語教育研修を2年に一度の悉皆研修として実施

4 これまでの取り組みを振り返って

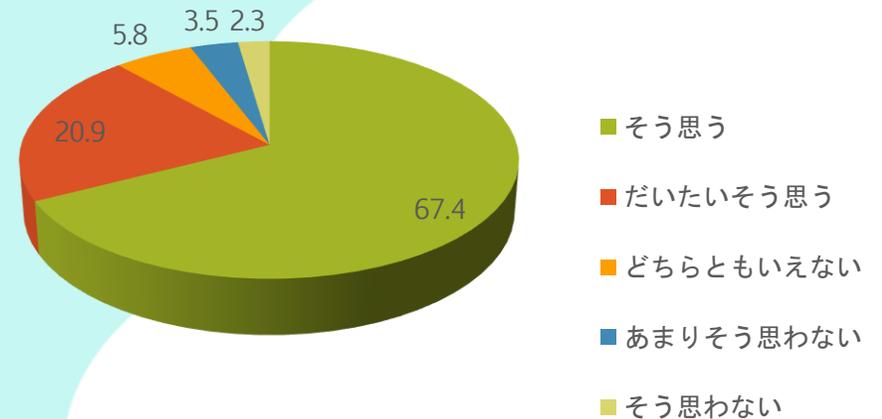
(1) 学習の当事者はどう受けとめているだろうか

① 児童の受けとめ (B小学校 5.6年児童全員 H28年度)

Q : あなたは、英語が好きですか



Q : 英語の授業は好きですか

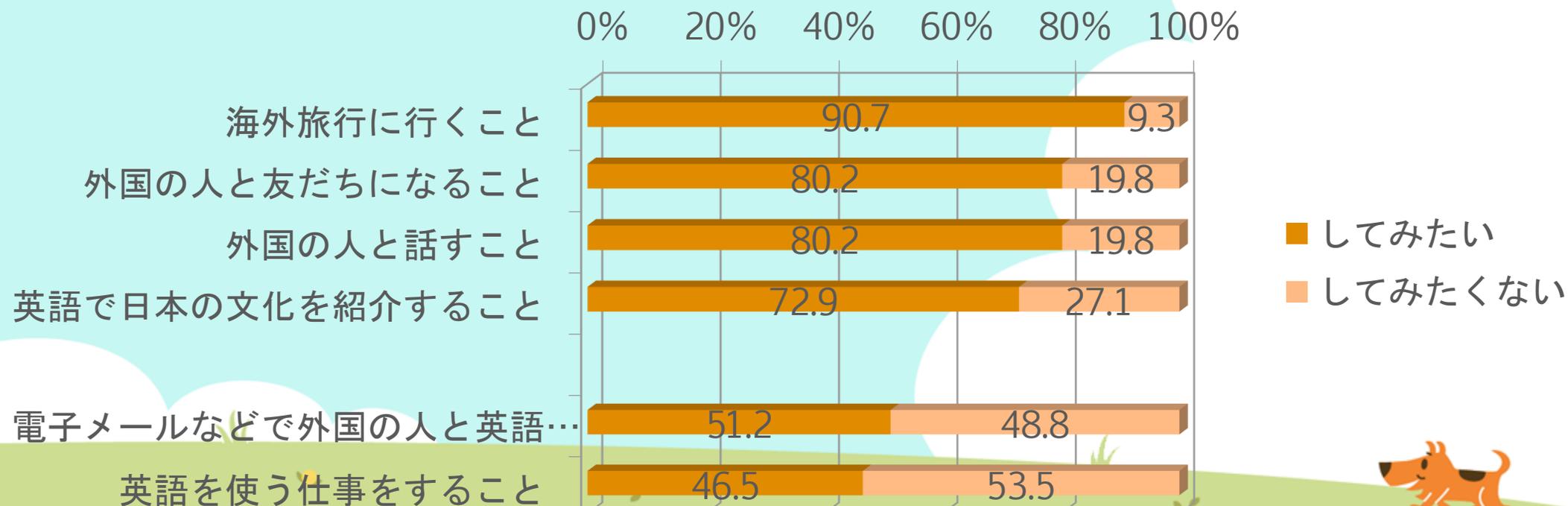


4 これまでの取り組みを振り返って

(1) 学習の当事者はどう受けとめているだろうか

① 児童の受けとめ (B小学校 5.6年児童全員 H28年度)

Q：英語を使ってしてみたいことは何ですか

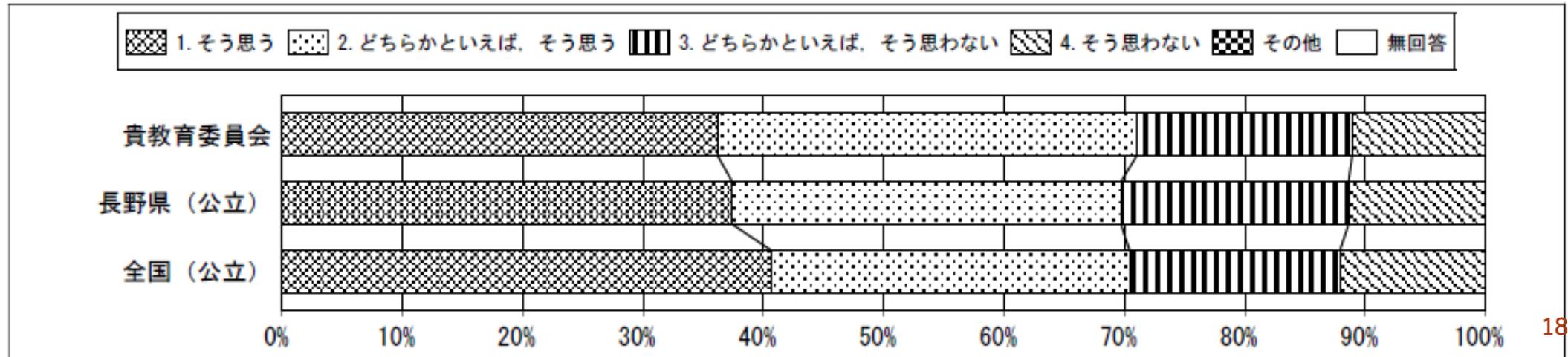


4 これまでの取り組みを振り返って

(1) 学習の当事者はどう受けとめているだろうか

① 児童の受けとめ (29年度 全国学力学習状況調査より)

質問番号	質問事項									
(47)	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴教育委員会	36.2	34.8	17.9	11.0					0.0	0.0
長野県 (公立)	37.4	32.3	18.9	11.3					0.0	0.0
全国 (公立)	40.6	29.8	17.5	12.0					0.0	0.1

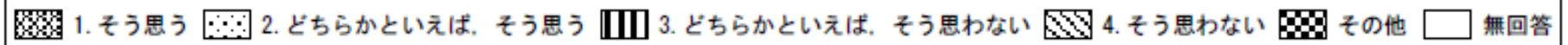


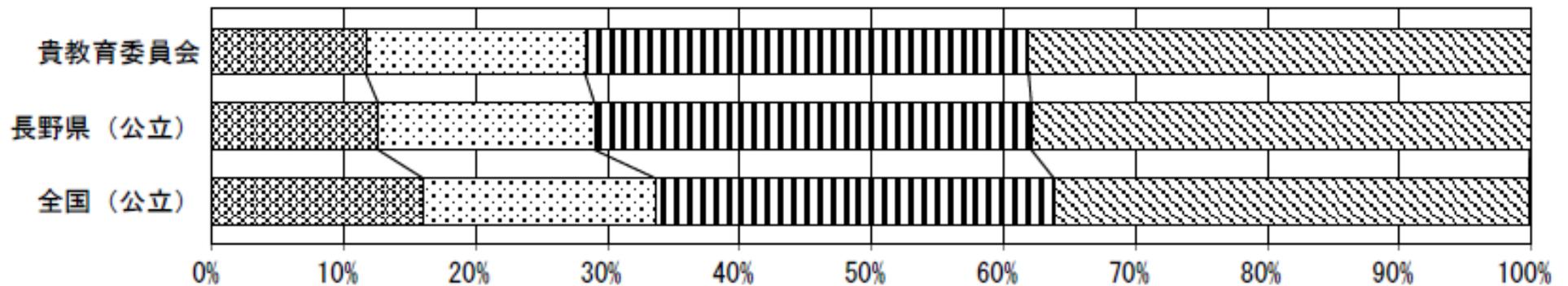
4 これまでの取り組みを振り返って

(1) 学習の当事者はどう受けとめているだろうか

①児童の受けとめ（29年度 全国学力学習状況調査より）

質問番号	質問事項									
(48)	将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思いますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴教育委員会	11.7	16.6	33.6	38.0					0.0	0.2
長野県（公立）	12.6	16.4	33.1	37.8					0.0	0.1
全国（公立）	16.0	17.6	30.2	36.0					0.0	0.1


 1. そう思う  2. どちらかといえば、そう思う  3. どちらかといえば、そう思わない  4. そう思わない  その他  無回答 



4 これまでの取り組みを振り返って

(1) 学習の当事者はどう受けとめているだろうか

② 担任の受けとめ (塩尻市広報特集より抜粋)

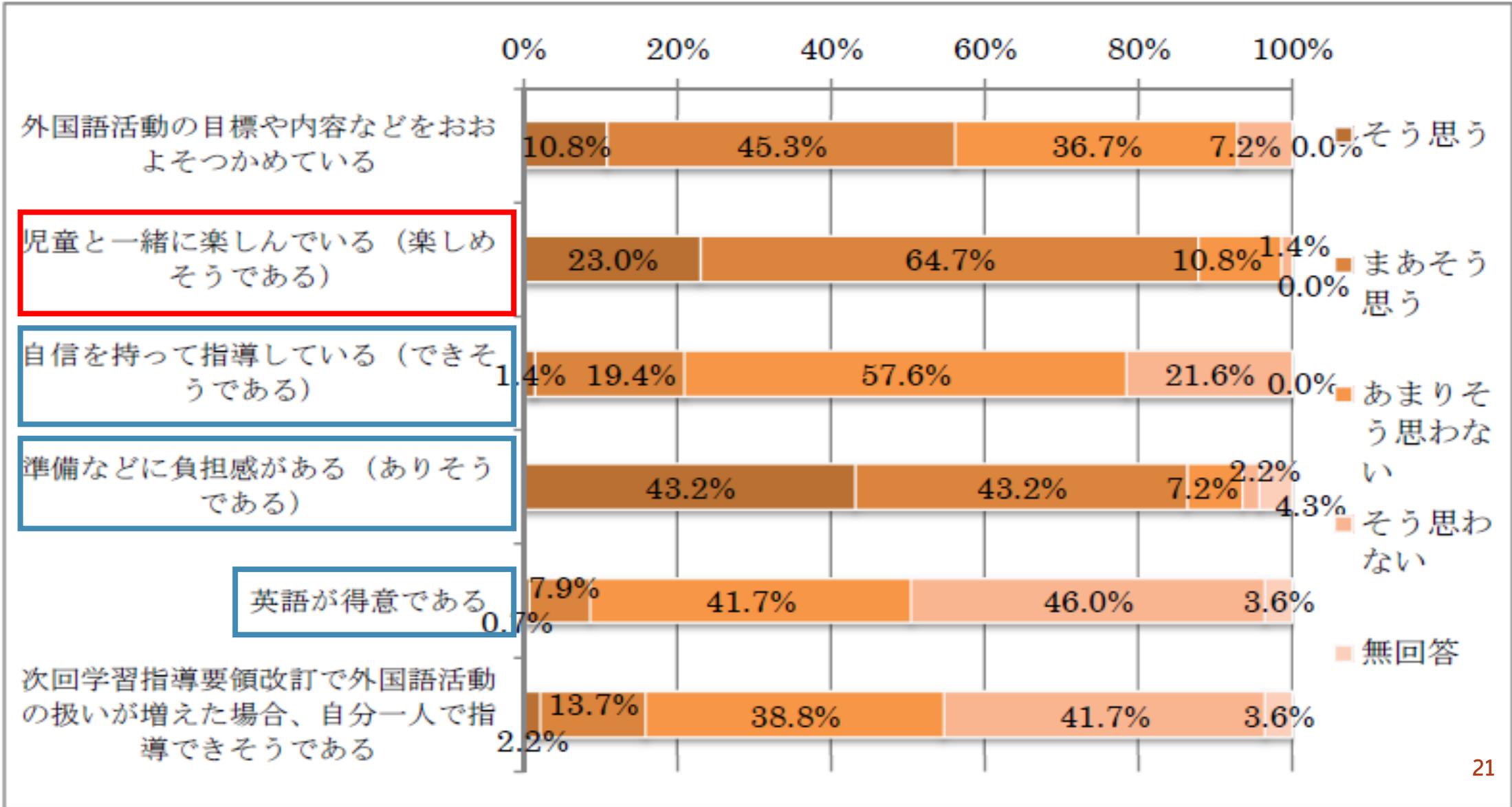
国際理解講師やA L Tに授業を任せきりにするのではなく、積極的にかかわるように心掛けています。

英語活動では、普段の教科でおとなしい子でも、生き生きと取り組んでいる姿が見られるのがうれしいですね。

小学校6年生くらいになると、恥ずかしがって表現をすることが苦手になります。年齢に合わせた教材の選択や授業構成、子どもたちがのびのびと自己表現できる環境をどうつくるかが、授業をする上での課題です。

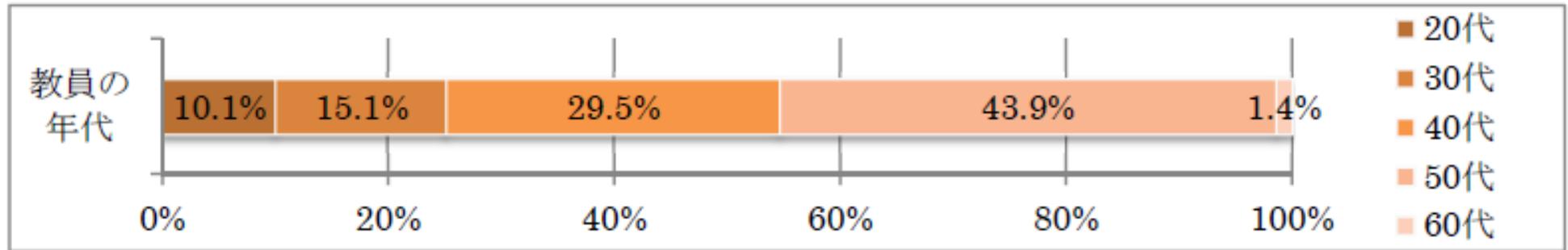


4 これまでの取り組みを振り返って

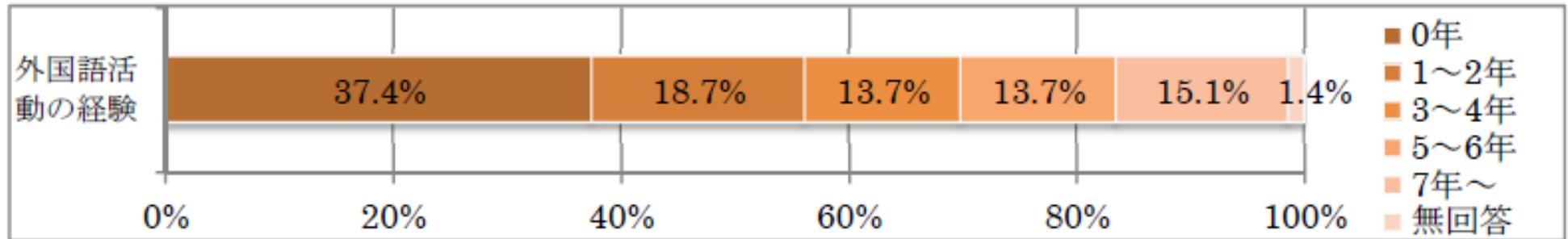


4 これまでの取り組みを振り返って

(1) 教員の年代



(3) これまでの外国語活動の経験年数



4 これまでの取り組みを振り返って

(1) 学習の当事者はどう受けとめているだろうか

②担任の受けとめ (H29年度 英語研修後のアンケートより)

これからの英語教育がどう変わっていくのかを見据え、今自分ができることについて良く分かった。苦手意識はあるけど、勇気を持って実践していこうと思えた。

実践的な演習やとなりの人と会話する時間もあって、コミュニケーションの楽しさが感じられた。子どもたちにもそんな楽しさを感じてもらいたい。



4 これまでの取り組みを振り返って

(1) 学習の当事者はどう受けとめているだろうか

③ 国際理解講師の受けとめ(29年1月の個別面談から)

- 活動を楽しみにしている子どもが多い。
- 外国語へのハードルが確かに低くなってきた。
- 英語に自然に慣れ親しんできて、聞き、反応し、表現する子どもたちが増えた。
- 明るく主体的に活動し、インタビュー活動などで自分から使おうとする子どもが増えた。
- 担任と準備段階から連携することで、担任中心の授業ができるようになってきた。恥ずかしさの垣根が外れた。



4 これまでの取り組みを振り返って

(1) 学習の当事者はどう受けとめているだろうか

③ 国際理解講師の受けとめ（29年1月の面談から）

- どう活動したらよいか戸惑っている児童がいる。
- 正確さを意識しすぎる余り言葉が続かない児童がいる。
- 外国語活動の時間を楽しみとしない児童もいる。
- 教材準備や、授業の打ち合わせの時間が不足している。
- 担任は一緒に取り組もうとしているが、子どもたちコミュニケーションを取るための英語力が不足している。

る。

る。



4 これまでの取り組みを振り返って

(2) これまでの取り組みの成果と課題

① 学ぶ側に見られる成果 (○) と課題 (□)

- 外国語活動に興味関心を持ち、英語によるコミュニケーションを楽しんでいると感じる児童が増えてきている。
- 7割以上の児童が、外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思っている。
- 低学年からの活動の積み上げで、基本的な表現に慣れ親しんできてきている。
- 外国語でのコミュニケーションを楽しみながら、アラ
ベットや単語の文字などへの関心を高めている。
- 言葉の他ジェスチャーなども使い表現しようとして



アラ



4 これまでの取り組みを振り返って

(2) これまでの取り組みの成果と課題

① 学ぶ側に見られる成果 (○) と課題 (□)

- 学年が進むにつれて、外国語活動への興味や関心が薄れる児童が増える傾向がある。
- 授業の他に言葉として使う機会がほとんどないので、コミュニケーションを図る言葉としての定着が難しい。
- コミュニケーションを図るための、語彙が不足している。
- 全体学習ではよいが、ペアなど少人数グループになると自信が持てず、コミュニケーションを楽しめない。
- 外国の言葉や文化にさらに親しみたいという意識に



4 これまでの取り組みを振り返って

(2) これまでの取り組みの成果と課題

② 教える側に見られる成果 (○) と課題 (□)

- 担任が、自らが主体となって授業を進めていくという意欲の高まりが見られるようになっている。
- 担任が進めることで、コミュニケーションの場面が教科横断的な視点で広がりを持ってきている。
- 実践の積み上げから、コミュニケーションの場面が多様化し、それを市内全校で共有できるようになってきた。
- 担任と国際理解講師、ALTとのチーム・ティーチングが進み、それぞれの役割分担が明確になりつつある。
- クラスルーム・イングリッシュへの関心が高まり、身に付けようとする意欲が高まっている。



4 これまでの取り組みを振り返って

(2) これまでの取り組みの成果と課題

② 教える側に見られる成果 (○) と課題 (□)

- 担任が英語が苦手なことから、国際理解講師やALTに任せきりになってしまう傾向が残っている。
- 担任のコミュニケーション力や、英語力により、学級間で活動の差異がある。担任の英

語使用度向上が

必要

- 国際理解講師と担任との準備段階からの連携と、授業での役割分担が明確でない場合がある。
- 授業時数が物理的に増える中、教材準備や打ち合わせの時間が十分取ることが難しい。
- 小中のつながりを保障するための連携体制が十分で



4 これまでの取り組みを振り返って

(2) これまでの取り組みの成果と課題

③ その他の解決すべき課題

- 新学習指導要領の内容の周知 ※ 校内研修体制の確立
- 移行措置、先行実施に向けた時間割を含めた教育課程の編成と、授業の体制づくり
- めあてが明確で、見通しの持てる授業過程のモデルづくり
- 国際理解講師と、ALTの質の向上と授業へのかかわりの在り方 ※市内共通のレベルにするための

ガイドライン

- 指導計画の立案や教材・教具の準備
- 外国語指導研修の継続

など



5 これからの塩尻の取り組みの方向

(1) 新学習指導要領完全実施までの基本的な推進計画



平成29年度
・指定校での
先行研究

塩尻スタイル
立案

・小中の連携
の強化

平成30年度
・移行措置
・指定校での
先行実施

・全校での塩
尻スタイルに
よる実践・評
価

平成31年度
・全校での先
行実施

・塩尻スタイ
ルの確立
・小学校英語
の後ろ倒し
の研究

平成32年度
・全校での完
全実施

・各校の特色
を生かした
塩尻スタイル
の補強

・中学校導入
時の指導過
程の提案

平成33年度
・中学校での
完全実施

・塩尻スタイ
ルに基づく各
校の特色あ
る指導計画
の確立



5 これからの塩尻の取り組みの方向

(2) 塩尻市教育委員会の基本的な考え方

- ① 学習指導要領の外国語の目標及び内容に沿うこと。
- ② これまでの積み上げを生かし、体験活動の充実など塩尻市の特色を生かしたカリキュラムを編成し、実践すること。
- ③ 学級担任が主体となり、国際理解講師やA L T、地域指導者などと連携をして授業を進めること。
- ④ 授業改善を進めるための研修を継続的に行っていくこと。
- ⑤ 小学校から中学校への学びの連続に配慮すること



5 これからの塩尻の取り組みの方向

(2) 塩尻市教育委員会の基本的な考え方

① 学習指導要領の外国語の目標及び内容に沿うこと。

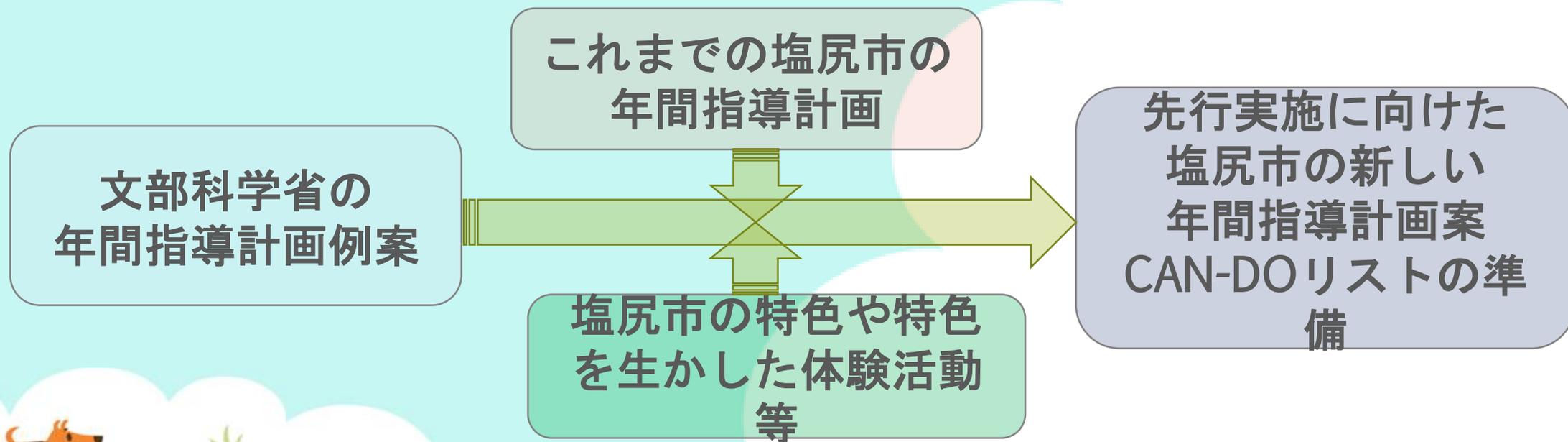
- 四技能をバランスよく育て、実際のコミュニケーションに活用できる基礎的な技能を身に付ける。
- 身近で簡単な事柄について、自分の気持ちや考えを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- 他者に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図うとする態度を養う。



5 これからの塩尻の取り組みの方向

(2) 塩尻市教育委員会の基本的な考え方

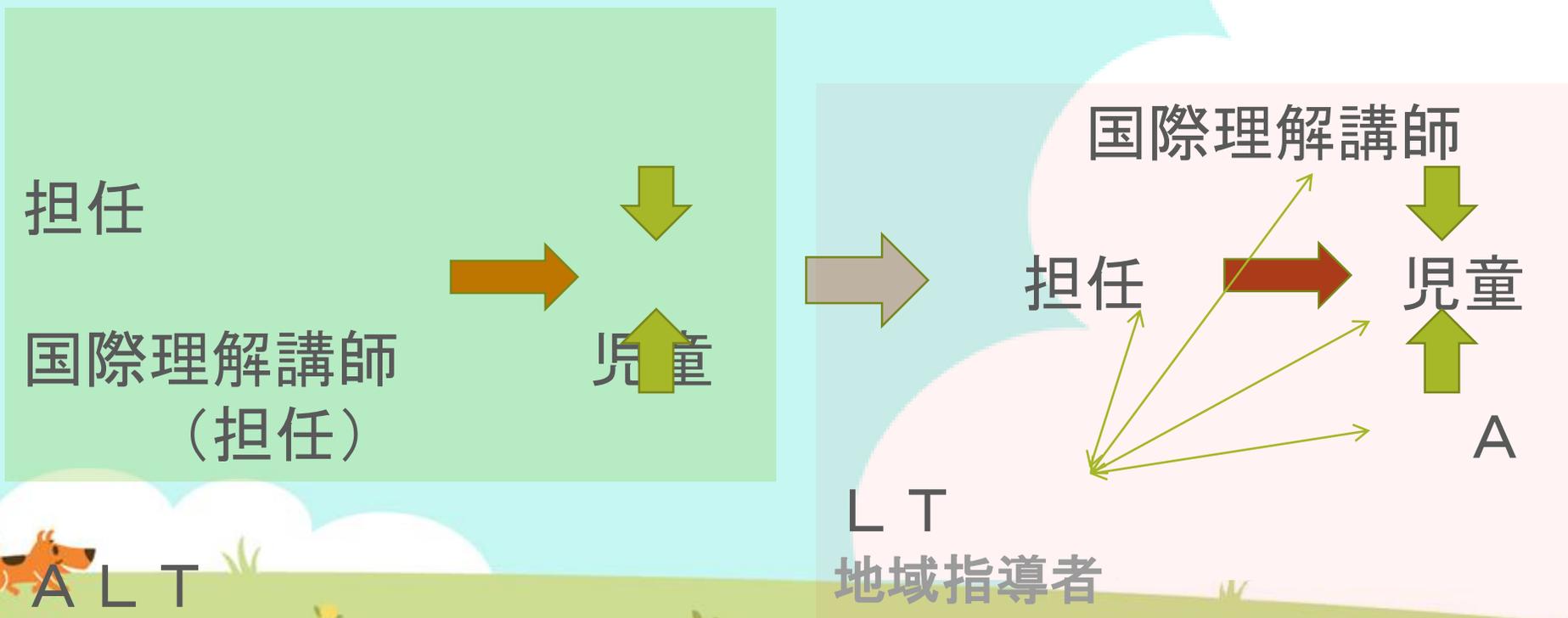
- ② これまでの積み上げを生かし、体験活動の充実など塩尻市の特色を生かしたカリキュラムを編成し、実践すること。



5 これからの塩尻の取り組みの方向

(2) 塩尻市教育委員会の基本的な考え方

- ③ 学級担任が主体となり、国際理解講師やA L T、地域指導者などとの連携して授業を進めること。



5 これからの塩尻の取り組みの方向

(2) 塩尻市教育委員会の基本的な考え方

- ③ 学級担任が主体となり、国際理解講師やALT、地域指導者などとの連携して授業を進めること。

※めあてが明確で、見通しの持てる授業過程のモデルづくり



5 これからの塩尻の取り組みの方向

(2) 塩尻市教育委員会の基本的な考え方

- ④ 授業改善を進めるための研修を継続的に行っていくこと。
 - 市教育センター主催の英語研修（2年に一度の悉皆研修）の継続。
 - 指定校の公開授業研究会 & 講演会
 - 指導主事を招いた授業を通じた校内での研修会の継続
指導主事の企画するテーマ別研修会への自主参加
 - 校内での短時間のミニ研修会の継続



5 これからの塩尻の取り組みの方向

(2) 塩尻市教育委員会の基本的な考え方

- ⑤ 小学校から中学校への学びの連続に配慮すること
小学校～中学校へのアプローチカリキュラムと、中学校でのスタートカリキュラムの研究、実践、評価、改善

小学校でのアプローチカリキュラム

小学校のカリキュラム

中学校のカリキュラム

中学校でのスタートカリキュラム



5 これからの塩尻の取り組みの方向

(3) その他の懸案事項への対応

① 学習時間の確保

29年度 研究指定校での検証

- 短時間学習（外国語活動）
- 短時間学習（外国語活動以外）
- 現状に1コマ加える時間割

指定校での実践の評価・検証

- ・ 教育課程編成研究委員会
- ・ 小学校英語活動研究協議会

各校での時間割作成・実践評価



5 これからの塩尻の取り組みの方向

(3) その他の懸案事項への対応

② 英語を使ったコミュニケーション体験活動の計画

- ALTや地域講師との遊びや行事の中での体験活動
- 大学への留学生との交流活動（松本歯科大など）
- 旅行者との交流や、案内活動（檜川地域）
- 高校生や中学生との英語交流活動（学校紹介や案内）
- 英語活動発表会



5 これからの塩尻の取り組みの方向

(3) その他の懸案事項への対応

- ③ ICT機器を活用した授業の推進
 - ・ 情報教育担当指導主事との連携
- ④ 教材・教具の準備
 - ・ 必要品の確認と予算化
 - ・ 英語絵本など市立図書館との連携
- ⑤ 外国語活動推進体制の強化 (課題の共有と連携強化)
 - ・ 英語科担当指導主事 塩尻市教育センター
 - ・ 小学校英語活動研究協議会 ・ 教育課程研究委員会
 - ・ 学力向上研究委員会
- ⑥ 校長のキャリアラム・マネジメント力の発揮
 - ・ 校長会としての研修、情報交換





ご静聴ありがとうございました



塩尻市教育委員会 教育長 山田 富康